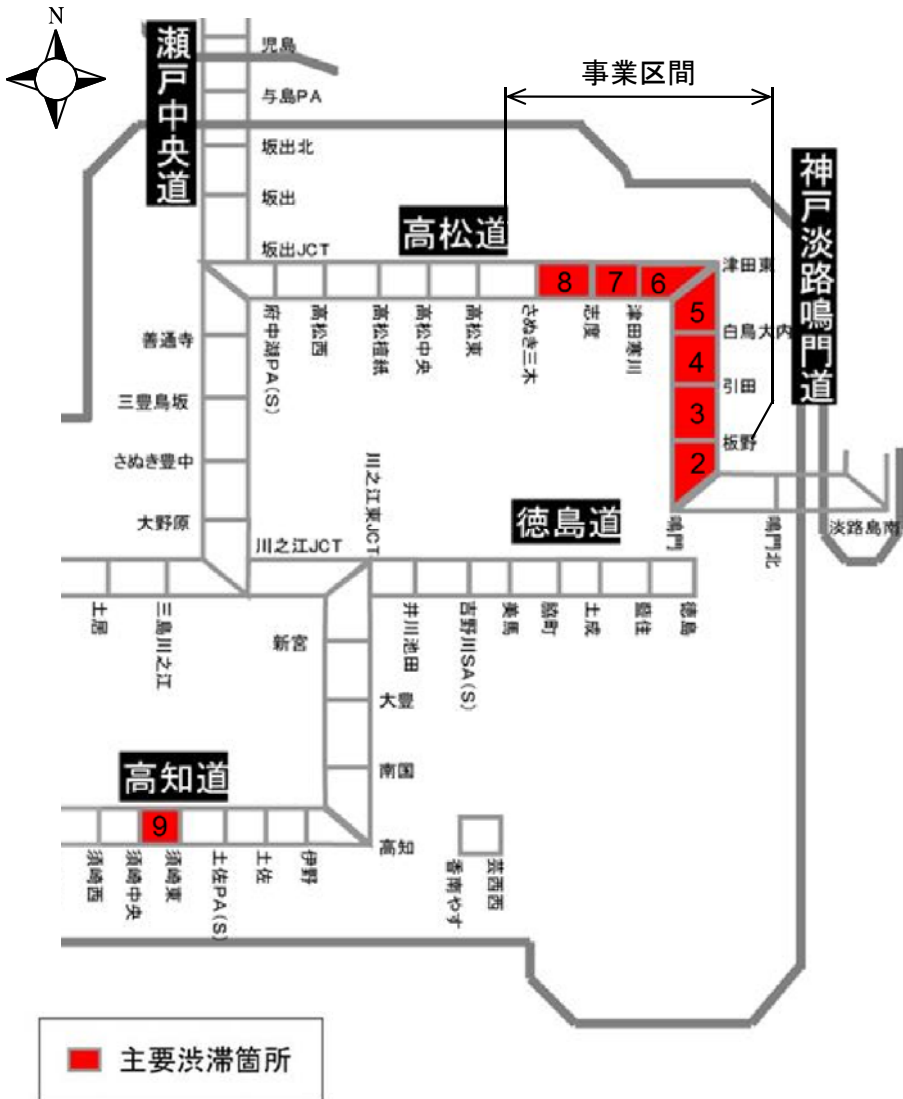
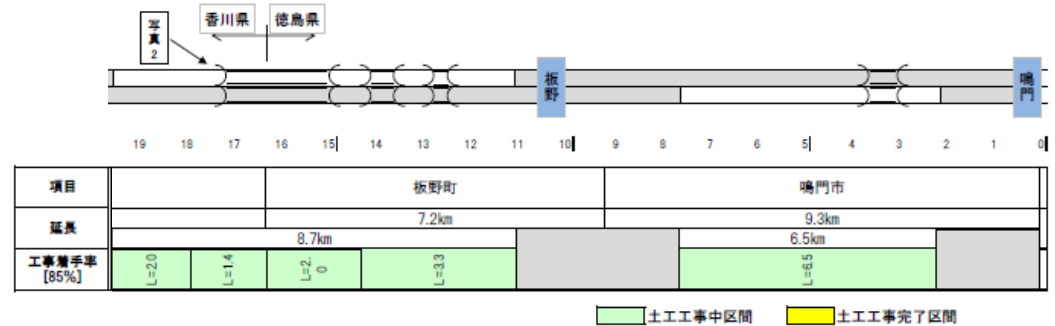


【参考資料 2】 具体的対策の実施状況

- 高松自動車道の鳴門IC～高松市境間においては、繁忙期の交通集中によりトンネル坑口や付加車線擦り付け部を先頭とした渋滞が発生している状況にあり、主要渋滞箇所も該当。
- 定時性・走行環境の向上、災害時の代替機能の強化を図るため、平成30年度の完成に向けて高松自動車道の4車線拡幅事業を推進。
- 平成27年度は、徳島県内の工事全面着手済。



◇徳島県側の工事進捗状況(H27.8末現在) 平成30年度完成予定



◇徳島県内の渋滞緩和が期待される区間

番号	区間名
2	鳴門IC～板野IC
3	板野IC～引田IC



写真1:大坂谷川橋工事状況(H27.9)



写真2:大坂トンネル工事状況(H27.9)

- 四国横断自動車道（阿南～徳島東）は四国東南地域の高速ネットワークの空白地帯を解消し、地域間交流の促進や災害時の代替路、現道の走行性向上等を図る道路である。新直轄方式により事業を推進中。
- 当該道路の整備により、国道11号・国道55号・阿南道路・徳島東環状線・(一)徳島小松島線等の南北方向の交通が転換し、渋滞緩和が期待できる。
- 平成27年度は、小松島IC（仮称）～徳島東IC（仮称）間で初めて工事に着手するなど全面的に事業を展開。



写真①：勝浦川橋（南行き）の渋滞状況



写真②：小松島市前原付近



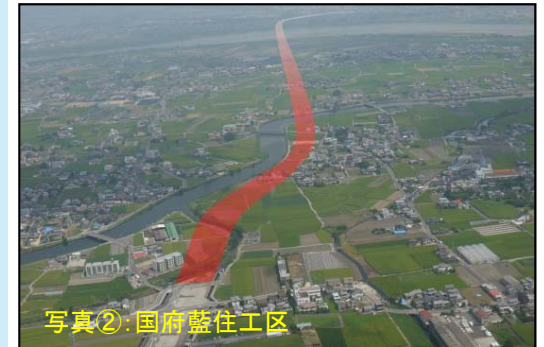
◇渋滞緩和が期待される箇所

番号	箇所名	番号	箇所名
3	助任橋	50	論田町本浦
4	徳島本町	51	大原町中須
5	かちどき橋付近	52	大原町千代ヶ丸
6	中昭和町	53	江田
7	南昭和町一丁目	54	勝占町下敷地
8	沖浜東	55	勝浦川橋北詰付近
10	大野	56	日開野町
44	安宅二丁目	57	那賀川橋北詰
46	昭和IC	58	南島
47	新浜町一丁目	61	那賀川大橋北詰
48	新浜本町二丁目付近	71	大林北
49	勝浦浜橋南	72	宮倉

写真③：小松島市新居見付近



- 徳島西環状線は、徳島外環状道路の西側部分を形成する道路であり、徳島自動車道などの高速交通ネットワークへの接続や、名田橋、四国三郎橋を始めとした吉野川渡河断面の交通容量不足による慢性的な渋滞解消を目的とした道路であり、平成19年度の国府工区の側道部など一部区間を供用。
- 引き続き残る区間の整備を進めることにより、交通容量の拡大、高速道路へのアクセスの向上が図られ、吉野川渡河部を含めた徳島市内の渋滞緩和が期待できる。
- 平成27年度は、国府藍住工区の用地買収と、埋蔵文化財調査を推進。



◇渋滞緩和が期待される箇所

番号	箇所名
11	徳大医学部前付近
16	中島田町二丁目
34	東貞方
35	四国三郎橋北詰
36	四国三郎橋南
37	弁天橋南詰
38	名田橋北詰
39	名田橋南詰

- 当該交差点は、国道192号と県道及び市道が交差する5枝の複雑な交差点であり、国道には右折専用車線がないため、右折待ち車両の滞留により後続車が影響を受けて渋滞が発生しているとともに、渋滞に起因する追突事故等も生じていることから、交通の円滑化と通行の安全性の向上を図るため、右折車線を設置するとともに、歩道未整備箇所の整備を行う。
- 平成27年度は用地買収を推進。



凡例	<主要渋滞箇所>		<道路種別>		<主要渋滞箇所に近接する主な施設>	
	● 渋滞緩和が期待される箇所	● 上記以外の箇所	■ 高速道路	■ 直轄国道	■ 主な工場等	■ 主な大規模商業施設
	■ 区間	■ エリア	■ 補助国道	■ 主要地方道	■ JR駅	■ 市町村境界

図1 計画平面図・計画断面図

◇渋滞緩和が期待される箇所

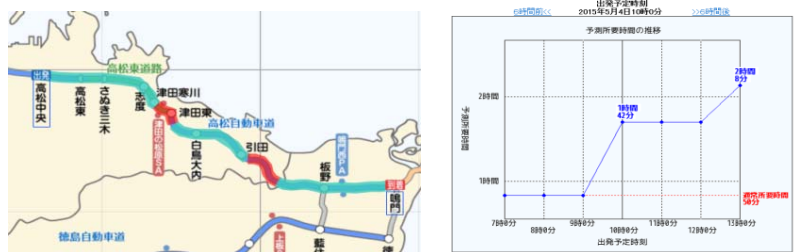
番号	箇所名
77	城山

○道路利用者に対する混雑回避のための情報提供活動として、『渋滞予測情報・渋滞情報の提供』ならびに上り坂・サグ部やトンネル坑口部での速度低下に起因する渋滞対策として『速度低下注意喚起対策』を実施。

渋滞予測情報・渋滞情報の提供

○料金経路検索（ホームページ掲載）

⇒渋滞予測を考慮した所要時間の検索が可能（右下グラフ）

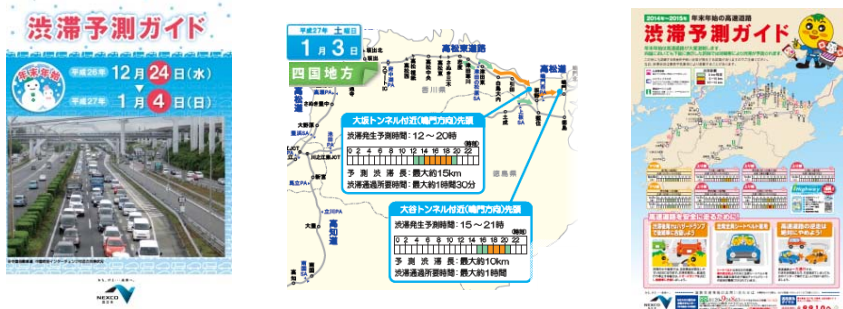


○渋滞予測カレンダー（ホームページ掲載）

⇒最大6ヶ月先までの渋滞予測情報（発生箇所・渋滞長など）を掲載

○渋滞予測ガイド配布やポスター掲示

⇒交通混雑期間前に冊子をSA・PA、道の駅等にて配布



○渋滞情報（リアルタイム）の広報

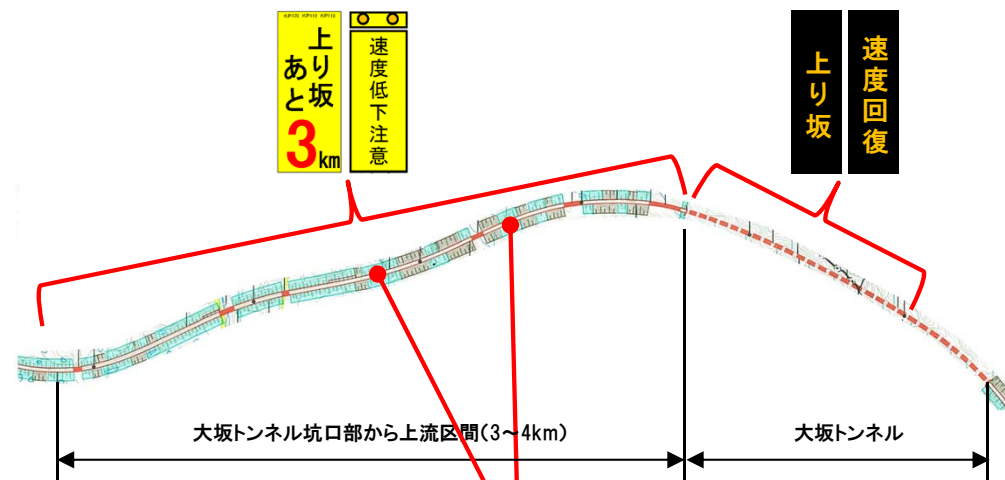


渋滞対策事例

高松自動車道(上り線) 大坂トンネル付近の渋滞対策状況(イメージ)

予告看板や速度低下注意喚起看板を複数設置

大坂トンネル内に簡易情報板を複数設置

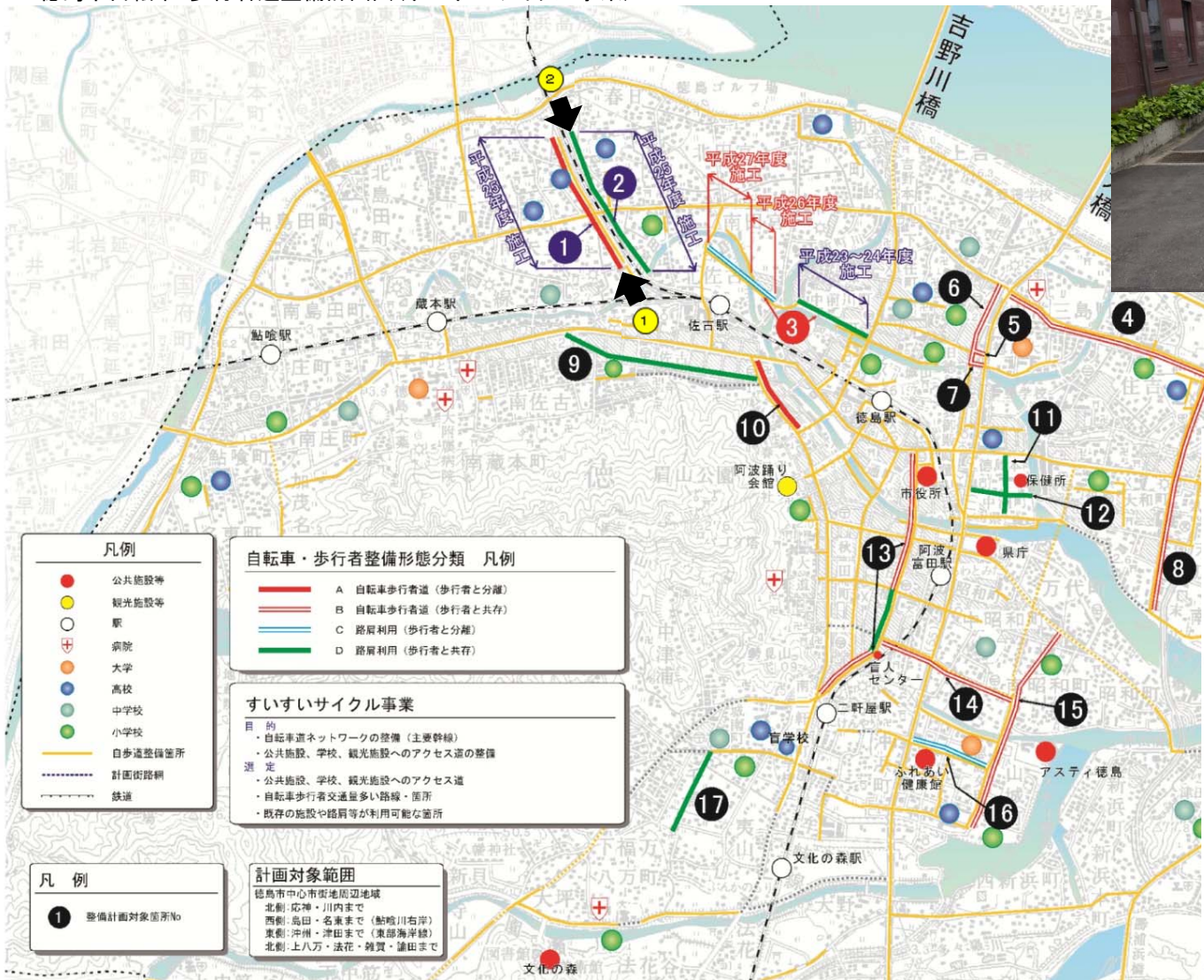


大坂トンネル手前に簡易情報板を設置(2箇所)

- 平成21年度から自転車の走行環境を整備し、自転車利用を促進することを目的として幅員に余裕のある歩道、車道においてカラー標示等による自転車通行位置の明示等の対策を実施。
- 平成27年度は北佐古1番町において歩道整備、路肩カラー表示（延長340m）を実施予定。
- 平成30年度整備完了を目指し、事業を推進。

■徳島市自転車・歩行者道整備計画図（すいすいサイクル事業）

■整備状況



徳島市 自転車・歩行者道整備計画（すいすいサイクル事業）整備形態および整備箇所 一覧

路線形態	整備形態			
	A 自転車歩行者道 (歩行者と分離)	B 自転車歩行者道 (歩行者と共存)	C 路肩利用 (歩行者と分離)	D 路肩利用 (歩行者と共存)
事業主体	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
路線名	佐古駅・矢三・春日線	春日・北佐古線	南前川・北佐古線	常三島・沖洲線
箇所名 (地区名)	北矢三町1丁目～南矢三町1丁目	北矢三町1丁目～南矢三町1丁目	中前川町5丁目～南前川町4丁目	北常三島2丁目～金沢1丁目
整備形態 タイプ	A	C	D	B
事業内容、手法	既設歩道内での自転車と歩行者の分離	路肩部カラー舗装化	自転車レーンとして路肩部カラー舗装	カラー舗装
路線名	徳島・助任線	徳島・助任線	徳島・助任線	徳島・助任線
箇所名 (地区名)	助任橋1丁目	助任橋1丁目	助任橋1丁目	助任橋1丁目
整備形態 タイプ	B	B	B	B
事業内容、手法	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装
路線名	佐古・南末広線	佐古・南末広線	佐古・南末広線	佐古・南末広線
箇所名 (地区名)	城東町2丁目～南末広町	佐古2号線	佐古2号線	佐古2号線
整備形態 タイプ	B	D	D	D
事業内容、手法	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装
路線名	佐古・新町通り線	佐古・新町通り線	佐古・新町通り線	佐古・新町通り線
箇所名 (地区名)	佐古1番町～西大工町3丁目	佐古1番町～西大工町3丁目	佐古1番町～西大工町3丁目	佐古1番町～西大工町3丁目
整備形態 タイプ	A	A	A	A
事業内容、手法	既設歩道内での自転車と歩行者の分離	既設歩道内での自転車と歩行者の分離	既設歩道内での自転車と歩行者の分離	既設歩道内での自転車と歩行者の分離
路線名	中洲・徳島本町線	中洲・徳島本町線	中洲・徳島本町線	中洲・徳島本町線
箇所名 (地区名)	新藤町～中洲町	新藤町～中洲町	新藤町～中洲町	新藤町～中洲町
整備形態 タイプ	D	D	D	D
事業内容、手法	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装
路線名	富田橋通り線	富田橋通り線	富田橋通り線	富田橋通り線
箇所名 (地区名)	幸町1丁目～南二軒屋1丁目	幸町1丁目～南二軒屋1丁目	幸町1丁目～南二軒屋1丁目	幸町1丁目～南二軒屋1丁目
整備形態 タイプ	B, D	B, D	B, D	B, D
事業内容、手法	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装
路線名	昭和町南・大道線	昭和町南・大道線	昭和町南・大道線	昭和町南・大道線
箇所名 (地区名)	からどき橋5丁目～南昭和町2丁目	からどき橋5丁目～南昭和町2丁目	からどき橋5丁目～南昭和町2丁目	からどき橋5丁目～南昭和町2丁目
整備形態 タイプ	B	B	B	B
事業内容、手法	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装
路線名	團扇橋・万代線	團扇橋・万代線	團扇橋・万代線	團扇橋・万代線
箇所名 (地区名)	昭和5丁目～山城町西浜橋	昭和5丁目～山城町西浜橋	昭和5丁目～山城町西浜橋	昭和5丁目～山城町西浜橋
整備形態 タイプ	B	B	B	B
事業内容、手法	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装
路線名	二軒屋駅・新浜線	二軒屋駅・新浜線	二軒屋駅・新浜線	二軒屋駅・新浜線
箇所名 (地区名)	沖浜東1丁目～山城町西浜橋	沖浜東1丁目～山城町西浜橋	沖浜東1丁目～山城町西浜橋	沖浜東1丁目～山城町西浜橋
整備形態 タイプ	C	C	C	C
事業内容、手法	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装
路線名	城南・内浜線・團扇橋・万代線	城南・内浜線・團扇橋・万代線	城南・内浜線・團扇橋・万代線	城南・内浜線・團扇橋・万代線
箇所名 (地区名)	城南町4丁目～千鳥	城南町4丁目～千鳥	城南町4丁目～千鳥	城南町4丁目～千鳥
整備形態 タイプ	D	D	D	D
事業内容、手法	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装	カラー舗装

凡例

- 公共施設等
- 観光施設等
- 駅
- 病院
- 大学
- 高校
- 中学校
- 小学校
- 自歩道整備箇所
- 計画街路網
- 鉄道

自転車・歩行者整備形態分類 凡例

- A 自転車歩行者道 (歩行者と分離)
- B 自転車歩行者道 (歩行者と共存)
- C 路肩利用 (歩行者と分離)
- D 路肩利用 (歩行者と共存)

すいすいサイクル事業

目 的

- ・自転車道ネットワークの整備 (主要幹線)
- ・公共施設、学校、観光施設へのアクセス道の整備

選 定

- ・公共施設、学校、観光施設へのアクセス道
- ・自転車歩行者交通量多い路線・箇所
- ・既存の施設や路肩等が利用可能な箇所

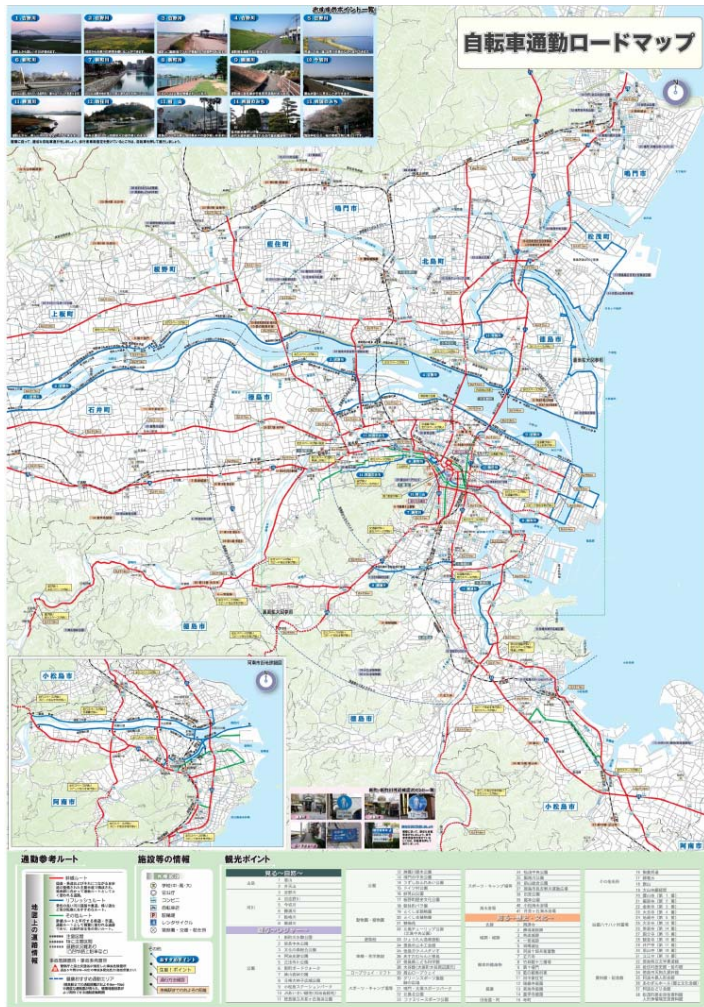
計画対象範囲

徳島市中心市街地周辺地域

北側: 応神・川内まで
西側: 島田・名東まで (船橋川右岸)
東側: 沖州・津田まで (東部海岸線)
北側: 上八万・法花・舞賀・津田まで

- 様々な視点から自転車利用の促進に向けた検討を行うため、平成20年度に「健康増進等に資する徳島自転車走行空間整備検討会」を設けて取り組みを実施。
- 自動車から自転車への通勤手段の転換を図るため、アンケート調査・モニター調査を実施し、通勤支援のためのルート等を整理した『自転車通勤ロードマップ』を平成23年4月に作成。
- 休日を中心としたレクリエーション利用に関しては、初心者でも走りやすいルートを示した『徳島自転車Tラインルートマップ』を平成26年9月に作成し、併せて自転車の利用を促進。

■自転車通勤ロードマップ：H23.4徳島県作成・公表



出典：徳島県ホームページ

■徳島自転車Tラインルートマップ：H26.9徳島県作成・公表

出典：徳島県ホームページ

○バスや電車に親しむ機会を通じ、公共交通機関の利用を促進するため、継続して「四国統一公共交通利用促進キャンペーン」を実施。

1 趣旨

四国運輸局では、平成18年に4県知事、経済団体、交通事業者、NPO等で構成する「四国公共交通利用促進協議会」を立ち上げ、平成19年度以降毎年、9月を中心とした約1ヶ月間を公共交通利用促進に係るキャンペーン期間と位置づけ、徳島市、高松市、松山市、高知市において、公共交通に親しむイベントを実施してきました。

2 今年度キャンペーン期間

平成27年9月12日(土)～10月18日(日)

3 キャンペーン名称・キャッチコピー

キャンペーン名称：四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン

キャッチコピー：もっと気軽に、もっと身近に

キャンペーンをより親しみやすく、覚えやすいものにするために、今年度より「四国統一公共交通利用促進キャンペーン」の名称を改めました。

4 キャンペーン期間中の取組内容（予定）

徳島市、高松市、松山市、高知市での都市イベント
地域バス交通活性化セミナーの開催

四国運輸局HP等における四国における地方自治体、交通事業者等の利用促進取組の紹介

5 その他

今回のキャンペーンでは、新たにキャンペーンロゴを作成することとしています。
ポスター等の公表とあわせ、後日改めてキャンペーン周知のためのプレスリリースを行う予定です。



**四国まるごと
公共交通利用促進
キャンペーン**

もっと気軽に、もっと身近に

四国では、毎年9月中旬から10月中旬までの約1ヶ月間を公共交通利用促進のためのキャンペーン期間とし、地方自治体、国、公共交通事業者、NPO等が協力して、各地で公共交通に親しむイベントを開催しています。

**四国まるごと
公共交通利用促進キャンペーン 2015
9月12日(土)～10月18日(日)**

各地都市イベント：

徳島会場	10月10日(土)	@徳島中央公園
高松会場	9月20日(日)	@美術館通り(中央通りからフェリー通りの間)、高松南部3町(南新町・常盤町・田町)商店街
松山会場	9月12日(土)	@大街道アーケード内(千舟町側入口)
高知会場	9月22日(火・祝)	@高知市中央公園

※その他、バスの活性化のためのセミナーや、鉄道の日に関連したイベントを実施する予定です。イベント等の詳細は四国運輸局ホームページ(<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/eco/eco2015.html>)をご覧ください。

主催/四国公共交通利用促進協議会(徳島県・高松市・香川県・高知県・四国経済連合会・四国商工会議所連合会・香川県個人身体障害者協会のつどい高松)公共交通を育てる会・特定非営利活動法人環境の社(たつ)・四国鉄道協会・四国旅客鉄道(株)・(一社)徳島県バス協会・(一社)香川県バス協会・(一社)愛媛県バス協会・(一社)高知県バス協会・四国バス協会・国土交通省(四国運輸局)
後援/徳島市・高松市・松山市・高知市・徳島新聞社・四国新聞社・愛媛新聞社・高知新聞社 協賛/四国運輸局研究センター
お問い合わせ先/国土交通省四国運輸局交通政策課 企画課 TEL: 087-835-6356



(参考)国土交通省公式
公共交通利用促進キャラクター
のりたろう

○平成15年12月10日よりバスの定時運行の確保と利便性向上を図るため、公共車両優先システム（PTPS）を、平日の午前7時～午前9時の間、国道192号（東行き）の上鮎喰橋東詰交差点～元町交差点において実施。

◇対象区間



<p><主要渋滞箇所></p> <p>● 箇所</p> <p>○ 区間</p> <p>■ エリア</p>		<p><道路種別></p> <p>— 高速道路</p> <p>— 直轄国道</p> <p>— 補助国道</p> <p>— 主要地方道</p> <p>— 一般県道</p> <p>— その他道路</p>		<p><主要渋滞箇所に近接する主な施設></p> <p>■ 主な工場等</p> <p>■ 主な大規模商業施設</p> <p>— JR駅</p> <p>— 市町村境界</p>	
--	--	---	--	--	--

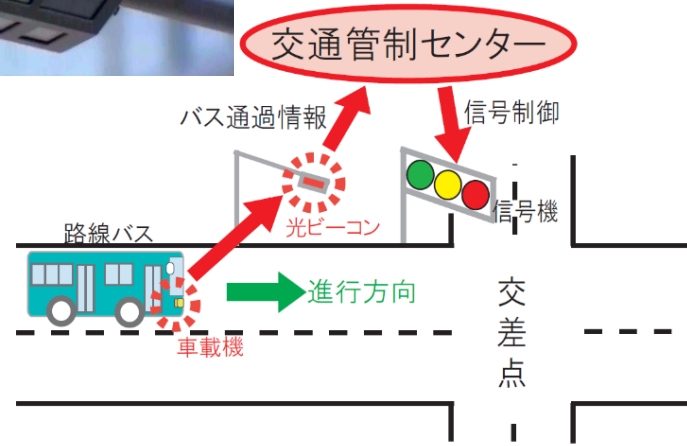
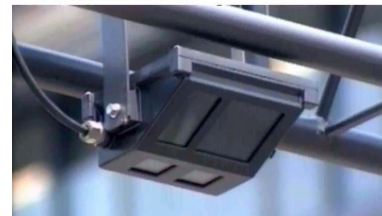
↔ :PTPS導入区間

PTPSとは

警察では、最先端の情報通信技術等を活用して交通管理の最適化を図る高度道路交通システム（ITS）として、新交通管理システム（UTMS: Universal Traffic Management Systems）の整備を推進しており、公共車両優先システム（PTPS: Public Transportation Priority System）はUTMSを構成するシステムの一つです。

交差点道路上に設置された光ビーコン（光学式車両感知器）が、バスに搭載した車載機からの情報を受信し、バスがなるべく停止しないように進行方向の信号を優先的に青にすることにより、バスの定時運行の確保と利便性の向上を図るものです。

光ビーコン



出典：徳島県警察ホームページ

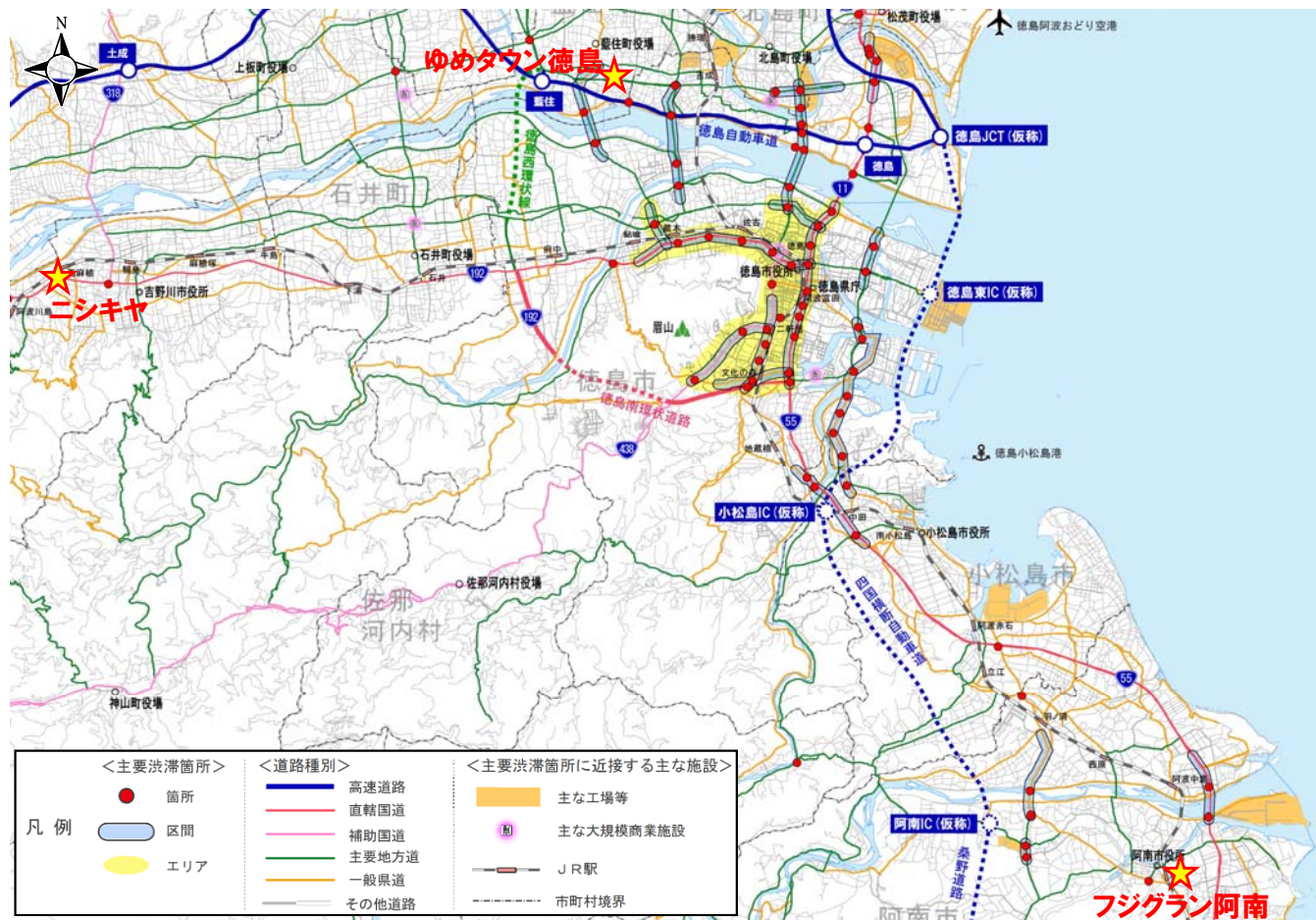
- 自動車から公共交通機関への利用転換を促すため、商業施設の店舗駐車場を利用したパーク&ライドを実施。
- 駐車料金として、店舗で利用できる商品券を購入して頂くことで、店舗の駐車場や駐輪場の利用が可能。

【利用店舗】

- ・ ニシキヤ鴨島店 (H17.7~)
- ・ フジグラン阿南 (H25.10~)
- ・ ゆめタウン徳島 (H26.10~)

【利用条件・利用内容】

	ニシキヤ鴨島店	フジグラン阿南	ゆめタウン徳島
駐車可能車両	自動車	自動車	自動車・自転車
利用可能日	土・日・祝を除く平日	土・日・祝を除く平日	土・日・祝を除く平日
利用可能時間	5:30~24:30	7:00~22:00	6:30~22:00
駐車料金	2,000円の商品券	3,000円の商品券	3,000円の商品券、駐輪の場合は無料
利用者数/募集人員	1名/20名	7名/8名	自動車 一名/5名、自転車 1名/10名



H27.8時点



図1 パーク&ライド(ゆめタウン徳島)のポスター

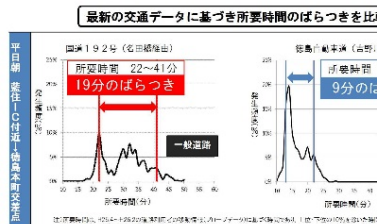
- プローブデータ等を分析し、徳島市内へ向かう際の一般道利用が高速道路経由に比べて定時性が低いことから、到着時間が安定している高速道路に経路の変更を促す取り組みを検討。
- しかし、四国横断自動車道徳島～徳島JCT～鳴門JCTの開通に伴い、徳島自動車道藍住IC～徳島ICの交通量が大幅に増加。
- 現在、最新データに基づいて定時性を分析中であり、分析結果を踏まえた実施内容を検討。

■昨年度の検討内容

○定時制比較マップを検討

徳島市へ向かう主要ルート(一般道)から徳島自動車道へ経路変更を促すマップを検討

定時性の確保が困難な経路を回避しませんか？



国道192号などの一般道路より徳島自動車道を利用した方が所要時間も短く、定時性が優れています。

経路	所要時間(ばらつき)
徳島自動車道経由	20分(11分)
徳島市街内	30分~41分(11分)
国道192号経由	22分~41分(19分)

所要時間のばらつきが**半分!**

経路	所要時間(ばらつき)
徳島自動車道経由	11分(5分)
徳島市街内	19分~29分(11分)
国道192号経由	20分~41分(11分)

所要時間のばらつきが**1/3!!**

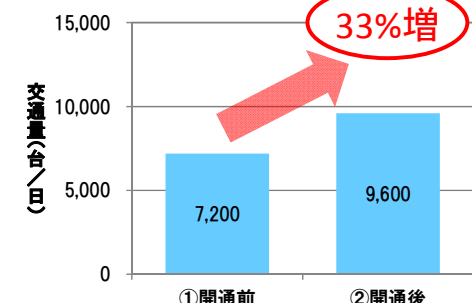
徳島地区渋滞対策協議会では、最新の交通データに基づき、徳島自動車道から徳島本町交差点までの運行経路の違いによる所要時間のばらつきを定めた『定時性比較マップ』を作成しました。(裏面をご覧ください) 定時性の優れた徳島自動車道をご利用下さい。

- ◆プローブデータ活用により、朝通勤時の徳島方面へ向かう幹線道路の交通状況を確認
- ◆定時性の確保が困難な一般道から、定時性に優れた高速道路に経路変更することにより、一般道の渋滞緩和を図る内容

■本年度の検討・実施内容

平成27年3月に徳島自動車道(徳島IC～鳴門JCT)が供用したことで、徳島自動車道(藍住IC～徳島IC間)の利用交通が大幅な増加が確認された。

◆藍住IC～徳島IC間の交通量の変化



資料:ネクソ西日本公表資料
開通前:H26.4.25～H26.5.6の日平均交通量
開通後:H27.4.25～H27.5.6の日平均交通量



徳島自動車道(徳島IC～鳴門JCT)の開通等、交通状況の変化を踏まえた最新のデータを活用し、定時性を確保できるルートの検討・分析を進め、改めて提案